

(塾名) 幡山中地域未来塾 「はたさんち塾」 (運営主体) 幡山中学校地域学校協働本部

(取組の概要)

- | | |
|-----------------------|---|
| 1 背景・ねらい | 中学生の主体的な学習習慣の定着につながるよう、安心安全な環境において、楽しみながら学ぶ機会を創出する。公民館を活用し、地域住民の参画を得ることで、社会教育施設が子供たちにとって身近な居場所となることや、関わる地域住民の教育力の向上を図る。 |
| 2 対象校・対象者 | 幡山中学校 1～3年生 |
| 3 実施教科 | 国語、数学、英語、理科、社会 |
| 4 実施場所 | 幡山公民館 |
| 5 実施の形態 | 生徒が持参する教科を中心に個別にサポートする。生徒一人一人のニーズに対応するため、支援者はそれぞれの強みを生かし、協力し合っ
て生徒に対応する。 |
| 6 実施日・回数
実施時間帯 | 夏休み期間中に4日間
14時～16時 |
| 7 登録人数 | 20名 |
| 8 参加人数(平均) | 20名 |
| 9 コーディネーター
等の取組の様子 | 地域学校協働活動推進員が地域連携担当教職員と相談の上、公民館の手配、大学生サポーターや高校生ボランティアの手配、参加者の把握、会場準備等をする。
学校からの生徒募集のメール配信や全校集会でのアナウンス等の協力があることで、より多くの生徒が集まり、充実したものになった。 |



(取組の結果・効果)

昨年からはじめた取組であるが、分からないところを気軽に質問できる雰囲気と、穏やかな人間関係の中で主体的に学習を進められるため、リピーターが多く、その評判を聞いた昨年度の参加者の友人が参加するというような循環が生まれている。

地元の退職教員や学生の目的意識が高く、打合せは短時間であっても、支援側が声をかけ合い、協力し合っ
て、生徒一人一人のニーズに応じたサポートを行うことができた。

年齢の近い高校生ボランティアがサポートに加わったことで、学習だけでなく進路や進学に関する話題もあがり、生徒からは「とても有意義だった」という感想が寄せられた。

地域の公共施設で開催したことで、地域の中で子供たちの安心安全な居場所が確保できるという実感があ
った。また、公民館の活用により、地域住民の参画を得やすく、社会教育施設が子供たちにとって身近な居場
所となることや、関わる地域住民の教育力の向上を期待できることが分かった。

多世代の地域住民の参画により実現した取組であり、関係者相互の感謝の気持ちが育まれ、学習支援を通し
て地域の中における多世代の交流が生まれた。